

2018年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年5月9日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL http://www.brangista.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 四半期報告書提出予定日 2018年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2018年9月期第2四半期の連結業績（2017年10月1日～2018年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第2四半期	1,632	11.9	△332	—	△332	—	△395	—
2017年9月期第2四半期	1,457	12.2	129	△39.5	130	△39.2	92	△36.9

（注）包括利益 2018年9月期第2四半期 △395百万円（-％） 2017年9月期第2四半期 49百万円（△65.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第2四半期	△27.47	—
2017年9月期第2四半期	6.50	6.19

（注）当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年9月期第2四半期	3,143	2,583	82.2
2017年9月期	3,454	2,831	81.9

（参考）自己資本 2018年9月期第2四半期 2,582百万円 2017年9月期 2,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年9月期	—	0.00	—	—	—
2018年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2018年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	4.4	0	—	0	—	△200	—	△13.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期2Q	14,522,800株	2017年9月期	14,290,200株
② 期末自己株式数	2018年9月期2Q	一株	2017年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年9月期2Q	14,386,100株	2017年9月期2Q	14,250,333株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、引き続き不確実性を含んだ世界経済や金融資本市場の変動による影響が懸念される一方で、雇用・所得環境の改善に加えて個人消費が持ち直していることもあり、緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻くインターネット関連市場は、インターネット広告費が4年連続で前年比10%以上の高い成長率を維持しており、日本の総広告費に対するシェアも引き続き拡大しております。これまで、テレビ、新聞、雑誌、ラジオでの広告利用率が高かった業種でインターネット広告への移行・活用が進みつつあり、動画広告も伸長を続けております。さらに、出版社によるデジタルメディアへの展開も増加し、電子雑誌での広告事業が本格化していることから、当社が提供する事業領域においては今後も好調な推移が予想されます(注)。

このような状況のもと、当社グループは「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」として、「電子雑誌」「ソリューション」と、当社連結子会社(株)ブランジスタゲームが運営する、3Dクレーンゲーム「神の手」の業容拡大に注力してまいりました。

電子雑誌業務においては、2月に10代後半～20代前半女性向けのスマホビューティーマガジン「HowB(ハウビー)」を、3月にはファストファッション通販サイト「SHOPLIST.com by CROOZ」と(株)幻冬舎と共同で、スマートフォンで楽しむ通販直結型の無料ファッションWEBマガジン「LISTA(リスタ)」を創刊いたしました。さらに、当社が発行する電子雑誌で初めての試みとして、雑誌を読んでポイントが貯まる機能付きアプリ専用マガジンとして、ビューティー&ヘルスマガジン「FABIENNE(ファビアンヌ)」を創刊し、当連結会計年度においては「飲み旅本。」「BeViVi(ビーヴィヴィ)」と合わせて5誌の電子雑誌の創刊が実現しました。

ソリューション業務においては、引き続き「ブランジスタ物流」をはじめとする「ECサポートサービス」の取扱高が増加しており、業務受託売上が好調に推移いたしました。

また、2017年10月に台湾に設立した当社初の海外現地法人、博設技股份有限公司(Brangista Taiwan, Inc)では、台湾に進出している日系企業や現地企業に対して、EC事業への進出支援やECサポートサービスの提供を開始し、海外戦略を加速させております。

「神の手」においては、人気アーティストやコンテンツのオリジナル景品が獲得できる企画を定期的で開催し、「神の手」だからこそ実現できる「ゲームメディア」としての新しい市場の構築に注力しております。また、企業とのタイアップ企画を継続的に実施し、クライアント企業への送客と、「神の手」利用者の増加に寄与いたしました。さらに、2017年12月28日から2018年1月8日にかけてテレビCMの全国放送を実施し、「App Store」全無料アプリの中で1位を達成いたしました。これを受け、2018年3月24日にはテレビCMの全国放送を再スタートし、さらなる認知度の向上を図るべく先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高1,632,031千円(前年同四半期比11.9%増)、営業損失332,362千円(前年同四半期は営業利益129,663千円)、経常損失332,737千円(前年同四半期は経常利益130,306千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失395,131千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益92,690千円)となりました。

なお、当社グループは「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) (株)電通「2017年 日本の広告費」参考。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,143,047千円となり、前連結会計年度末に比べて311,532千円の減少となりました。当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は3,025,585千円となり、前連結会計年度末に比べて286,323千円の減少となりました。これは主に法人税等の支払いや、連結子会社(株)ブランジスタゲームにおける広告宣伝費の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は117,462千円となり、前連結会計年度末に比べて25,209千円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が増加したものの、博設技股份有限公司の設立に伴い設立準備金として計上した投資その他の資産が減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は559,847千円となり、前連結会計年度末に比べて62,867千円の減少となりました。これは主に、業容の拡大に伴い未払金が増加したものの、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は2,583,200千円となり、前連結会計年度末に比べて248,665千円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は1,277,821千円となり、前連結会計年度末に比べて198,853千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は357,110千円(前年同四半期は4,513千円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少による増加98,839千円、未払金の増加52,047千円があったものの、税金等調整前四半期純損失332,737千円の計上及び法人税等の支払115,393千円による減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は19,326千円(前年同四半期は5,102千円の支出)となりました。これは、無形固定資産の取得による支出11,785千円、有形固定資産の取得による支出6,817千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は147,030千円(前年同四半期は20,660千円の収入)となりました。これは、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2017年11月14日の「2017年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,476,675	1,277,821
売掛金	1,731,538	1,632,677
貯蔵品	109,221	100,042
前払費用	34,242	54,035
繰延税金資産	75,426	68,140
その他	28,621	43,789
貸倒引当金	△143,816	△150,921
流動資産合計	3,311,908	3,025,585
固定資産		
有形固定資産	9,714	15,222
無形固定資産		
その他	50,801	48,884
無形固定資産合計	50,801	48,884
投資その他の資産	82,155	53,355
固定資産合計	142,671	117,462
資産合計	3,454,580	3,143,047
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,664	97,924
短期借入金	100,000	100,000
未払金	108,296	159,555
未払法人税等	132,424	69,280
前受金	39,879	44,534
預り金	19,886	20,955
業績連動賞与引当金	75,935	53,999
その他	38,626	13,595
流動負債合計	622,714	559,847
負債合計	622,714	559,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,555	604,070
資本剰余金	812,190	885,705
利益剰余金	1,488,130	1,092,999
株主資本合計	2,830,876	2,582,775
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△564
その他の包括利益累計額合計	—	△564
新株予約権	989	989
純資産合計	2,831,865	2,583,200
負債純資産合計	3,454,580	3,143,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
売上高	1,457,838	1,632,031
売上原価	528,270	628,368
売上総利益	929,567	1,003,663
販売費及び一般管理費	799,903	1,336,026
営業利益又は営業損失(△)	129,663	△332,362
営業外収益		
転籍関連収入	633	—
受取利息	9	10
営業外収益合計	642	10
営業外費用		
支払利息	—	269
為替差損	—	115
営業外費用合計	—	384
経常利益又は経常損失(△)	130,306	△332,737
特別損失		
固定資産除却損	45	0
特別損失合計	45	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,260	△332,737
法人税、住民税及び事業税	88,147	56,960
法人税等調整額	△7,772	5,433
法人税等合計	80,375	62,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,885	△395,131
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,804	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	92,690	△395,131

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	49,885	△395,131
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△564
その他の包括利益合計	—	△564
四半期包括利益	49,885	△395,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,690	△395,695
非支配株主に係る四半期包括利益	△42,804	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	130,260	△332,737
減価償却費及びその他の償却費	17,396	14,685
業績連動賞与引当金の増減額(△は減少)	21,000	△21,935
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,487	12,699
固定資産除却損	45	0
売上債権の増減額(△は増加)	△33,949	98,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,220	9,179
前払費用の増減額(△は増加)	△2,366	△19,793
仕入債務の増減額(△は減少)	23,186	△9,724
前受金の増減額(△は減少)	1,220	4,655
未払金の増減額(△は減少)	18,245	52,047
預り金の増減額(△は減少)	697	1,069
未払又は未収消費税等の増減額	△28,775	△39,073
その他	4,424	△11,370
小計	112,653	△241,458
利息の受取額	9	10
利息の支払額	—	△269
法人税等の支払額	△108,148	△115,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,513	△357,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,167	△6,817
無形固定資産の取得による支出	△3,935	△11,785
敷金及び保証金の差入による支出	—	△724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,102	△19,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	20,660	147,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,660	147,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,071	△229,767
現金及び現金同等物の期首残高	1,804,013	1,476,675
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	30,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,824,085	1,277,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、博設技股份有限公司を設立したため、連結子会社に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。